

故種瀨茂先生略年譜

大正一四(一九二五)年 一月一八日

神奈川県横浜市北方町字西ノ谷八六四番地に父種瀨賢一・母八重子の長男として生れる

昭和 六(一九三一)年 四月

(六歳)

横浜市立横浜小学校に入学

昭和一二(一九三七)年 三月

(一二歳)

同校卒業

四月

神奈川県立第一中学校に入学

昭和一六(一九四一)年 三月

(一六歳)

同校第四学年修了

四月

東京商科大学予科入学

昭和一八(一九四三)年 九月

(一八歳)

同校修了

一〇月

同学部入学・杉本ゼミナール所屬

昭和一九(一九四四)年 四月二五日

(一九歳)

山梨県下各地の農村に勤勞奉仕に赴く

昭和二〇(一九四五)年 一月一〇日

(二〇歳)

特別甲種幹部候補生として陸軍經理学校に入校

秋

(二〇歳)

東京商科大学に復学

昭和二三(一九四八)年 三月

(二三歳)

同学部卒業

一二月一日

東京商科大学助手

昭和二六(一九五一)年 五月一九日

(二六歳)

父賢一永眠

七月

神奈川県横浜市から東京都三鷹市牟礼一八六番地に転居

昭和二七(一九五二)年 九月二四日

(二七歳)

恩師杉本栄一先生逝去

昭和二八(一九五三)年 四月一日

(二八歳)

一橋大学経済学部助手に配置換

五月一日

一橋大学経済学部講師

昭和二九(一九五四)年 四月一日 (二九歳)

経済学史学会会員(他界まで)

昭和三一(一九五六)年 〇月 六日 (三一歳)

安藤泰治次女^{おつと}と結婚

昭和三二(一九五七)年 六月二六日 (三二歳)

長男^{おとこ}亮誕生

七月一日

一橋大学経済学部助教授

昭和三三(一九五八)年 八月 (三三歳)

東京都国立市東区八八CF四〇に転居

昭和三四(一九五九)年 四月一日 (三四歳)

経済理論学会会員(他界まで)

昭和三五(一九六〇)年 八月二〇日 (三五歳)

ロックフェラー財団基金によりアメリカ合衆国ハーバード大学に家族と共に留学

八月一日

(昭和三六(一九六一)年八月三十一日まで)

昭和三六(一九六一)年 四月一日 (三六歳)

大学院経済学研究科担当

昭和三八(一九六三)年 四月二〇日 (三八歳)

教科用図書検定調査審議会調査委員(昭和三九(一九六四)年三月三十一日まで)

昭和三九(一九六四)年 四月一日 (三九歳)

国際基督教大学非常勤講師(昭和五九(一九八四)年三月まで)

昭和四〇(一九六五)年 四月一日 (四〇歳)

一橋大学弓道部部长(昭和四九(一九七四)年秋まで)

八月一日

一橋大学経済学部教授

昭和四一(一九六六)年 七月一日 (四一歳)

日本科学者会議創立発起人となり他界まで会員

昭和四四(一九六九)年 二月一日 (四四歳)

富山大学経済学部非常勤講師(昭和四一(一九六六)年九月三〇日まで)

昭和四四(一九六九)年 三月一日 (四四歳)

東京都国立市中二ノ一RA四〇一に転居

昭和四四(一九六九)年 四月一日 (四四歳)

金沢大学法文学部非常勤講師(昭和五二(一九七七)年三月三十一日まで)

昭和四四(一九六九)年 七月一日 (四四歳)

学術審議会専門委員(昭和四四(一九六九)年二月三十一日まで)

昭和四四(一九六九)年 七月二七日 (四四歳)

経済理論学会幹事(昭和五八(一九八三)年三月三十一日まで)

昭和四四(一九六九)年 九月二日 (四四歳)

一橋大学小平分校主事(昭和四五(一九七〇)年三月三十一日まで)

昭和四六(一九七二)年 四月一日 (四六歳)

学生集会(小平)の際高血圧で倒れ、二〇日間慈恵医大病院に入院、以後約一カ月自宅療養

昭和四六(一九七二)年 四月一日 (四六歳)

一橋大学評議員(昭和四八(一九七三)年三月三十一日まで)

昭和四八(一九七三)年	四月一日	(四八歳)	中央大学商学部非常勤講師(昭和四九(一九七四)年三月三十一日まで)
	一〇月一六日		京都大学経済学部非常勤講師(昭和四九(一九七四)年三月三十一日まで)
	一〇月一六日		京都大学大学院経済学研究科担当(昭和四九(一九七四)年三月三十一日まで)
昭和四九(一九七四)年	四月一日	(四九歳)	東京経済大学非常勤講師(昭和五一(一九七六)年三月まで)
	五月		日本科学者会議東京支部幹事(昭和五二(一九七七)年四月まで)
	六月一日		和歌山大学経済学部非常勤講師(昭和五〇(一九七五)年三月三十一日まで)
	六月一日		和歌山大学大学院経済学研究科担当(昭和五〇(一九七五)年三月三十一日まで)
昭和五〇(一九七五)年	二月二〇日	(五〇歳)	経済科学研究連絡委員会委員(昭和五九(一九八四)年五月三十一日まで)
昭和五一(一九七六)年	二月一日	(五一歳)	学術審議会専門委員(科学研究費分科会)(昭和五二(一九七七)年二月三十一日まで)
	六月二五日		国際経済学協会第五回世界会議委員会委員(昭和五三(一九七八)年五月三十一日まで)
	一〇月三日		北海道大学経済学部非常勤講師(昭和五一(一九七六)年二月二十五日まで)
昭和五二(一九七七)年	五月	(五二歳)	日本科学者会議東京支部常任幹事(昭和五三(一九七八)年四月まで)
昭和五三(一九七八)年	五月	(五三歳)	日本科学者会議全国常任幹事(昭和五四(一九七九)年四月まで)
昭和五四(一九七九)年	四月一日	(五四歳)	一橋大学経済学部長(昭和五六(一九八一)年三月三十一日まで)
昭和五七(一九八二)年	一月七日	(五六歳)	国立歴史民俗博物館共同研究員(昭和五七(一九八二)年三月三十一日まで)
昭和五八(一九八三)年	四月一日	(五八歳)	経済理論学会代表幹事(昭和六一(一九八六)年三月三十一日まで)
	七月二三日		一橋大学長(他界まで)
	八月三日		財団法人産業教育振興中央会評議員(他界まで)
	八月九日		大学セミナーハウス評議員(昭和六一(一九八六)年六月九日まで)
	一一月		東京都国分寺市北町四ノ三ノ二に転居
	一一月一九日		大学セミナーハウス理事(昭和六一(一九八六)年六月九日まで)
	一〇月五日		国立大学協会大学院問題特別委員会委員(他界まで)

昭和五九(一九八四年) 三月二五日 (五九歳)

七月三一日

大学基準協会理事(他界まで)
日本学術会議推薦管理会委員(他界まで)

一二月一五日

母八重子永眠

昭和六〇(一九八五年) 五月一日 (六〇歳)

一〇月二八日

特別会計制度協議会構成員(他界まで)
国立大学協会副会長(他界まで)

六月一七日

大学入試センター評議員(他界まで)

昭和六一(一九八六年) 六月一七日 (六一歳)

午前五時頃、心筋梗塞のため東京都国分寺市北町四ノ三ノ二の自宅にて他界
東京都国分寺市並木町二ノ三三ノ一三 鳳林院墓地に眠る

顕徳院経学茂秀居士

享年六一歳